令和７年度
秋田公立美術大学

入 学 試 験 問 題

秋田公立美術大学
AKITA UNIVERSITY OF ART

目　次

１　学校推薦型選抜

推薦選抜Ⅰ、社会人特別選抜

実技試験　鉛筆デッサン‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　１

推薦選抜Ⅱ　小論文試験‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　４

２　一般選抜試験

前期日程　実技試験　鉛筆デッサン‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　６

選択試験　着彩表現‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　９

色彩表現‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥１２

立体表現‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥１５

小論文‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥１８

中期日程　実技試験　鉛筆デッサン‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥２０

令和７年度

学校推薦型選抜〔推薦選抜Ⅰ〕

実技試験

＜注意事項＞

- 鉛筆、消し具、カッターナイフ（鉛筆削り用）以外は使用しないこと。
- 上記以外のものは、試験開始前に机上からかたづけること。
- Ａ４用紙２枚は、モチーフではありません。スケッチ等に使用すること。
- 時計のアラームは必ず切ること。時計（腕時計等）は机上に置いてよい。
- 携帯電話等の電子機器類は、電源を切り、机上からかたづけること。
- 試験時間中の退室は原則として認めない。なお、トイレや体調が悪くなった場合などは、手を挙げて指示を仰ぐこと。
- 解答用紙（Ｂ３用紙）裏の所定の欄に受験番号を必ず記入すること。
- フィキサチーフ（定着液）は使用しないこと。
- 試験終了の合図の後に、解答用紙に絶対に手を加えないこと。
- 問題用紙、モチーフは持ち帰らないこと。

令和６年１１月２３日

秋田公立美術大学

「問題」

与えられたモチーフ（洗濯バサミ、バナナ、アルミクラフト紙）を自由に構成し、描写しなさい。

「条件」

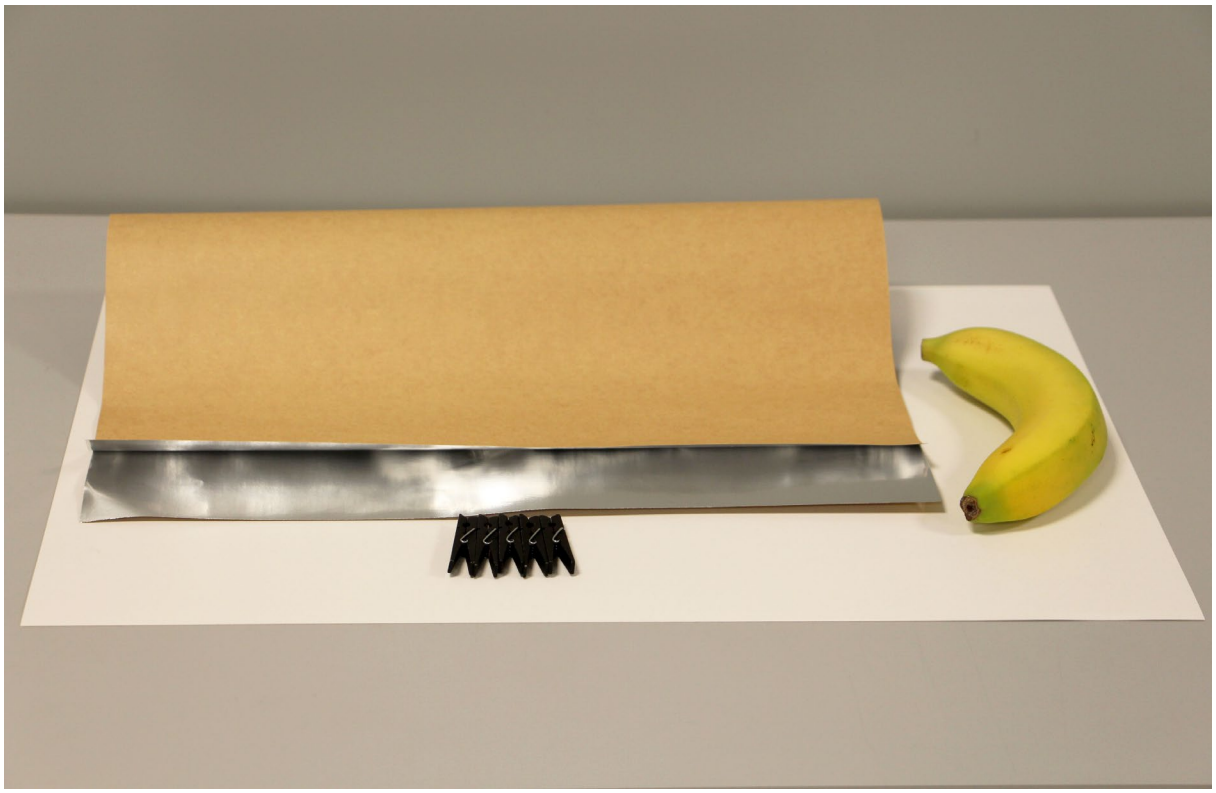
１　９時から９時３０分までは、構成を考える時間とし、解答用紙に描いてはいけない。ただし、配付されたＡ４用紙には、スケッチ等を描いてもよい。

２　モチーフの加工は自由とする。

３　解答用紙は横位置とする。

「時間」

９時００分から１３時００分まで（２４０分）



＜用紙＞　TMK ポスター　Ｂ３　特厚口

令和７年度

学校推薦型選抜〔推薦選抜Ⅱ〕

小論文試験

＜注意事項＞

- 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 解答用紙は問題冊子の中に１枚あります。問題は１題あります。
- 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 時計のアラームは必ず切ること。時計（腕時計等）は机上に置いてよい。
- 携帯電話等の電子機器類は、電源を切り、机上からかたづけること。
- 試験時間中の退室は原則として認めない。なお、トイレや体調が悪くなった場合などは、手を挙げて指示を仰ぐこと。
- 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号を記入しなさい。
- 試験終了後、問題冊子は持ち帰らないこと。

令和７年２月１日
秋田公立美術大学

問題

本学では、「形態や空間などを観察し把握する力」や「自身の考えを整理し、的確に伝えることのできる表現力」を身につけた学生が入学することを期待している。そこで、あなたがこれまでに最も感動した形態または空間を一つ挙げ、その内容や特徴を具体的に説明した上で、感動した理由を簡潔に論じなさい。なお、解答にあたっては 40 字以内の表題を付け、1200 字以内で論じること。

時間

１０時００分から１２時００分まで（１２０分）

令和７年度

一般選抜試験（前期日程）実技試験

鉛筆デッサン

＜注意事項＞

- 鉛筆、消し具、カッターナイフ（鉛筆削り用）以外は使用しないこと。
  上記以外のものは、試験開始前に机上からかたづけること。
- Ａ４白紙２枚は、モチーフではありません。スケッチ等に使用すること。
- 時計のアラームは必ず切ること。時計（腕時計等）は机上に置いてよい。
- 携帯電話等の電子機器類は、電源を切り、机上からかたづけること。
- 試験時間中の退室は原則として認めない。なお、トイレや体調が悪くなった場合などは、手を挙げて指示を仰ぐこと。
- 解答用紙（Ｂ３画用紙）裏の所定の欄に受験番号を必ず記入すること。
- フィキサチーフ（定着液）は使用しないこと。
- 試験終了の合図の後に、解答用紙に絶対に手を加えないこと。
- 問題用紙、モチーフは持ち帰らないこと。

令和７年２月２５日

秋田公立美術大学

「問題」

与えられたモチーフ（キルティング生地、紙筒、ハンガーピンチ）を自由に構成したうえで描写しなさい。

「条件」

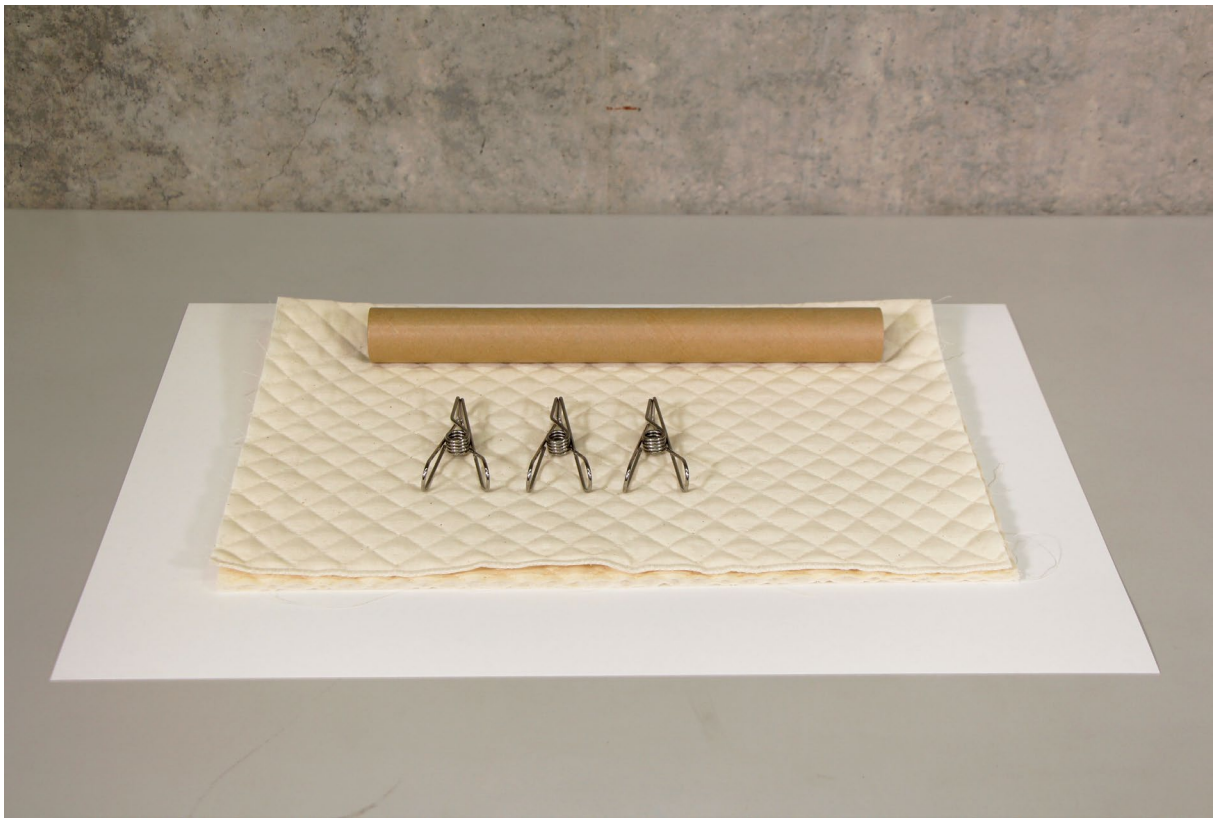
１　試験開始１２時から１２時３０分までは、モチーフを構成する時間とし、解答用紙に描いてはいけない。

ただし、配付されたＡ４白紙２枚にはスケッチ等を描いてもよい。

２　解答用紙は横位置とする。

「時間」

１２時００分から１６時００分まで（２４０分）



＜用紙＞　TMK ポスター　Ｂ３　特厚口

令和７年度

一般選抜試験（前期日程）選択試験

着彩表現

＜注意事項＞

- 鉛筆、消し具、カッターナイフ（鉛筆削り用)、透明水彩絵の具、筆、筆洗、パレット（絵皿・紙パレット可)、雑巾以外は使用しないこと。
  上記以外のものは、試験開始前に机上からかたづけること。
- 着色に必要な水は、試験開始後、着色を始める時に、試験室内の水場で各自用意すること。
- Ａ４白紙２枚は、モチーフではありません。スケッチ等に使用すること。
- 時計のアラームは必ず切ること。時計（腕時計等）は机上に置いてよい。
- 携帯電話等の電子機器類は、電源を切り、机上からかたづけること。
- 試験時間中の退室は原則として認めない。なお、トイレや体調が悪くなった場合などは、手を挙げて指示を仰ぐこと。
- 解答用紙（Ｂ３画用紙）の裏の所定欄に受験番号を必ず記入すること。
- 試験終了の合図の後に、解答用紙に絶対に手を加えないこと。
- 問題用紙、モチーフは持ち帰らないこと。

令和７年２月２６日

秋田公立美術大学

「問題」

与えられたモチーフ（保温シート、ランタン、カーネーション)すべてを自由に構成のうえ､着彩表現しなさい。

「条件」

１　解答用紙は横位置とする。

２　配付されたＡ４白紙２枚にはスケッチ等を描いてもよい。

「時間」

１２時００分から１６時００分まで（２４０分）

＜用紙＞　TMK ポスター　Ｂ３　特厚口

令和７年度

一般選抜試験（前期日程）選択試験

色彩表現

＜注意事項＞

- 鉛筆、消し具、カッターナイフ（鉛筆削り用)、ポスターカラーまたはアクリル絵の具、筆、筆洗、パレット（絵皿・紙パレット可)、直定規（６０㎝以内のもの)、三角定規（３０㎝以内のもの)、雑巾以外は使用しないこと。
  上記以外のものは、試験開始前に机上からかたづけること。
- コンパス、マスキングテープ、からすぐち、みぞひきガラス棒、クロッキー帳、配色カードの使用は認めない。机上に出ている場合、試験開始前に机上からかたづけること。
- 着色に必要な水は、試験開始後、着色を始める時に、試験室内の水場で各自用意すること。
- Ａ４白紙２枚は、モチーフではありません。スケッチ等に使用すること。
- 時計のアラームは必ず切ること。時計（腕時計等）は机上に置いてよい。
- 携帯電話等の電子機器類は、電源を切り、机上からかたづけること。
- 試験時間中の退室は原則として認めない。なお、トイレや体調が悪くなった場合などは、手を挙げて指示を仰ぐこと。
- 解答用紙（Ｂ３イラストレーションボード）の裏の所定欄に受験番号を必ず記入すること。
- 試験終了の合図の後に、解答用紙に絶対に手を加えないこと。
- 問題用紙、モチーフは持ち帰らないこと。

令和７年２月２６日

秋田公立美術大学

「問題」

与えられたモチーフ（キウイフルーツ）を用いて、自由に色彩表現しなさい。なお、画面構成はモチーフのみで表現すること。

「条件」

１　透明フィルムはモチーフではありません。

２　解答用紙は横位置とする。

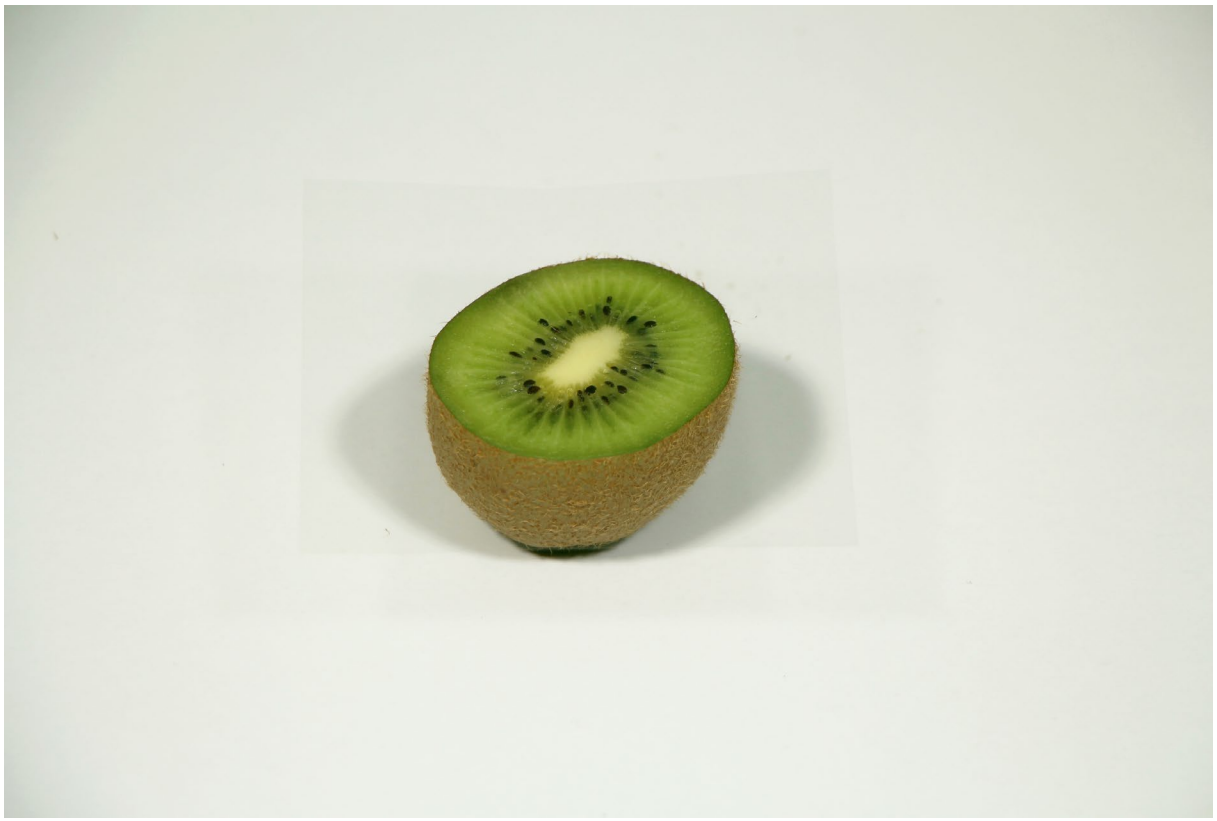
３　解答用紙の中央に縦３０㎝×横４０㎝の長方形を描き、画面とする。

４　画面内は全て彩色すること。

５　配付されたＡ４白紙２枚にはスケッチ等を描いてもよい。

「時間」

１２時００分から１６時００分まで（２４０分）



＜用紙＞　KMK ケント（イラストレーションボード）　３㎜厚　Ｂ３

令和７年度

一般選抜試験（前期日程）選択試験

立体表現

＜注意事項＞

- 鉛筆、消し具、カッターナイフ、はさみ、直定規（60cm以内のもの)、三角定規（30cm以内のもの)、コンパス、のり、ペンチ、雑巾、スチロールボンド、木工用ボンド、両面テープ、セロハンテープ以外は使用しないこと。　＊スチロールボンド、木工用ボンド、両面テープ、セロハンテープは、本学から配付する。上記以外のものは、試験開始前に机上からかたづけること。
- カッターは必ずカッターマットの上で使用すること。机を傷つけないように十分に注意すること。
- ボンド、のりなどが机に付着した場合はすみやかに雑巾で拭き取ること。
- Ａ４白紙２枚は、スケッチ等に使用すること。
- 時計のアラームは必ず切ること。時計（腕時計等）は机上に置いてよい。
- 携帯電話等の電子機器類は、電源を切り、机上からかたづけること。
- 試験時間中の退室は原則として認めない。なお、トイレや体調が悪くなった場合などは、手を挙げて指示を仰ぐこと。
- 解答用の板の所定欄に受験番号を必ず記入すること。
- 試験終了の合図の後に、解答に絶対に手を加えないこと。
- 問題用紙、材料は持ち帰らないこと。

令和７年２月２６日

秋田公立美術大学

「問題」

４種類に分割された１０ｃｍ立方のスタイロフォームの塊を再構成して自由に立体を表現しなさい。

また、別紙に制作意図を１００字以内で書きなさい。

「条件」

１　立体は解答用の板からはみ出さないこと。

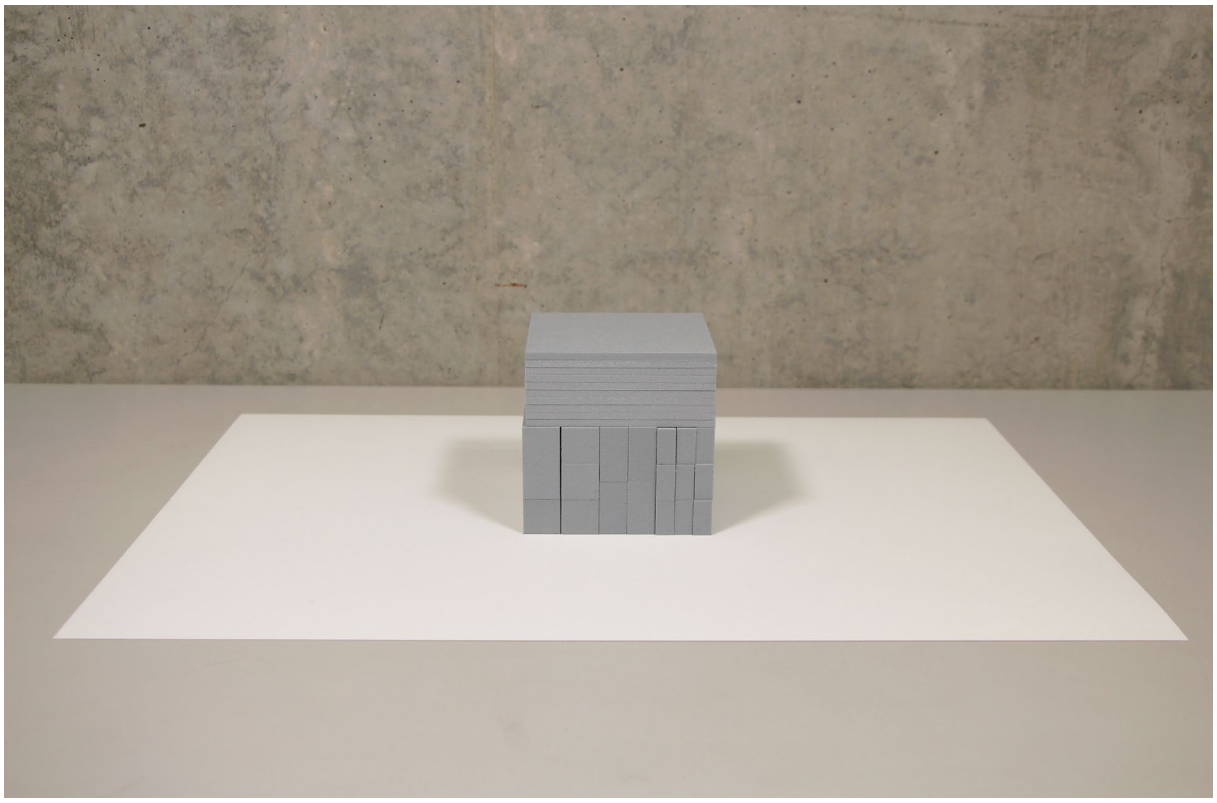
２　立体は解答用の板に固定すること。

３　与えられたスタイロフォームはすべて使用すること。ただし、加工で出た端材は使用しなくてもよい。

４　配付されたＡ４白紙２枚にはスケッチ等を描いてもよい。

「時間」

１２時００分から１６時００分まで（２４０分）



令和７年度

一般選抜試験（前期日程）選択試験

小論文

＜注意事項＞

- 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 解答用紙は問題冊子の中に１枚あります。
- 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- 時計のアラームは必ず切ること。時計（腕時計等）は机上に置いてよい。
- 携帯電話等の電子機器類は、電源を切り、机上からかたづけること。
- 試験時間中の退室は原則として認めない。なお、トイレや体調が悪くなった場合などは、手を挙げて指示を仰ぐこと。
- 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号を記入すること。
- 試験終了後、問題冊子は持ち帰らないこと。

令和７年２月２６日
秋田公立美術大学

問題

小説と絵画のうち、より多様な表現が可能な方を選び、その理由を具体的に論じなさい。なお、論じる際には、小説と絵画の共通点と相違点をそれぞれ１つ以上挙げ、それを踏まえて論を展開すること。解答にあたっては 40 字以内の表題を付け、1200 字以内で論じなさい。

時間

１２時００分から１４時００分まで（１２０分）

令和７年度

一般選抜試験（中期日程）実技試験

鉛筆デッサン

＜注意事項＞

- 鉛筆、消し具、カッターナイフ（鉛筆削り用）以外は描画で使用しないこと。
  上記以外のものは、試験開始前に机上からかたづけること。
- Ａ４白紙２枚は、モチーフではありません。スケッチ等に使用すること。
- 時計のアラームは必ず切ること。時計（腕時計等）は机上に置いてよい。
- 携帯電話等の電子機器類は、電源を切り、机上からかたづけること。
- 試験時間中の退室は原則として認めない。なお、トイレや体調が悪くなった場合などは、手を挙げて指示を仰ぐこと。
- 解答用紙（Ｂ３画用紙）裏の所定の欄に受験番号を必ず記入すること。
- フィキサチーフ（定着液）は使用しないこと。
- 試験終了の合図の後に、解答用紙に絶対に手を加えないこと。
- 問題用紙、モチーフは持ち帰らないこと。

令和７年３月８日
秋田公立美術大学

「問題」

与えられたモチーフ（カラーセロハン、クラフトカップ、竹ひご）を自由に構成、加工したうえで描写しなさい。

「条件」

１　試験開始１２時から１２時３０分までは、モチーフを構成する時間とし、解答用紙に描いてはいけない。

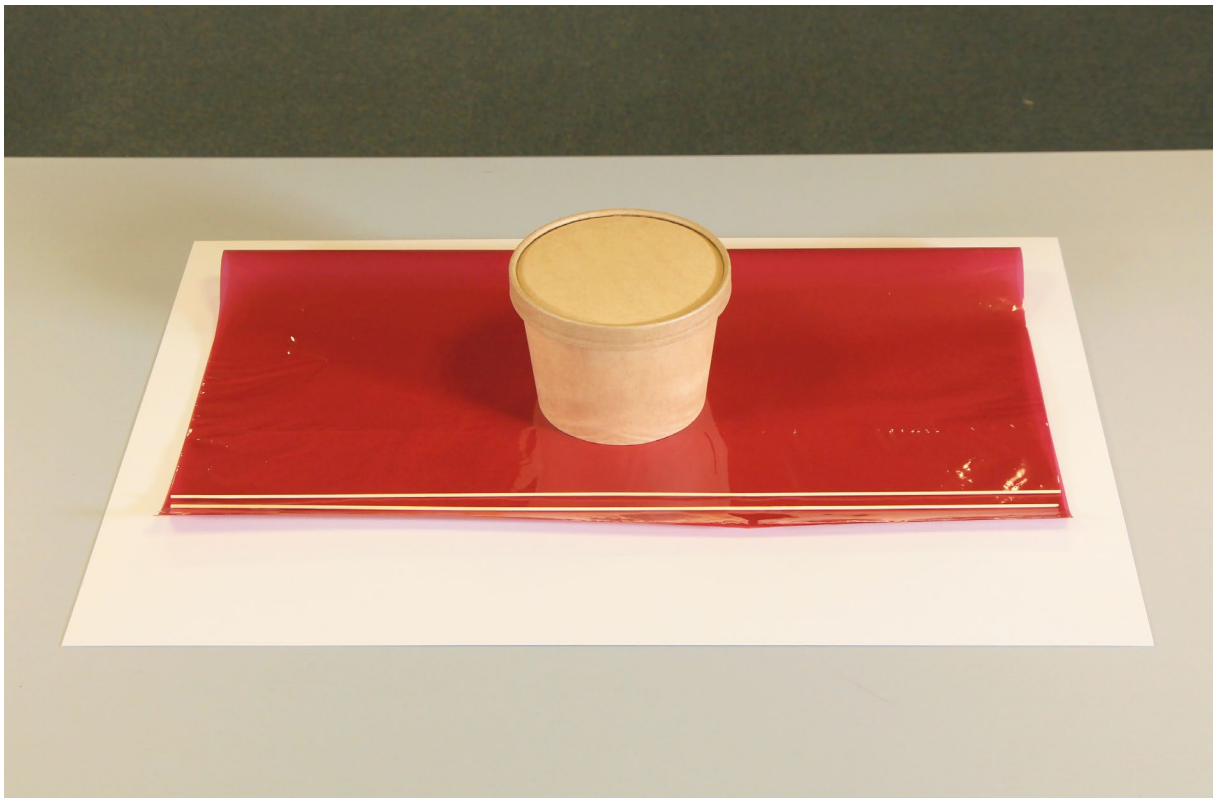
ただし、配付されたＡ４白紙２枚にはスケッチ等を描いてもよい。

２　ハサミはモチーフではありません。モチーフの加工に使用すること。

３　解答用紙は横位置とする。

「時間」

１２時００分から１６時００分まで（２４０分）



＜用紙＞　TMK ポスター　Ｂ３　特厚口